頑張る地方応援プログラム |------|

都道府県名	高知県	市町村名	本山町		
プロジェクト名	効率的な行政を実現するプロジェクト 新規・継続の 区分		継続		
プロジェクトの 目的、概要及び 具体的な成果目 標	(目的、概要) 地方交付税や国庫補助金が大幅に削減され、また税収の伸びが期待できない本町では 財源が乏しく、大変厳しい財政運営が続いている。 そのような状況の中、子供たちの安全を確保をするため保育所、小学校の耐震化が急務 況となっている。そのためプラチナセンター等の文化施設や本山小学校が立地している地 に、中学校に続き保育所、小学校の統合を実施し、一体的な整備により効率的な行政を実 し、自主財源確保による行政サービスの向上を図る。 プロジェクトの 目的、概要及び 具体的な成果目				
	(具体的な成果目標) 中学校統合による財政的効果(平成19年度より) 8,087千円 保育所統合による " (平成21年度より) 5,800千円 小学校統合による " (平成22年度より) 13,817千円				
プロジェクトの 期間	平成19年度~平成21年度	政策分野の分類 (~)	地域経営改革プロ	コジェクト	
住民への公表の 方法 (ホームページ アドレス等)	ホームページ(http://www.town.n 掲載	notoyama.kochi.	jp/sonota_index.ht	m)) 及び町広報紙に	
	プロジェクトを構	成する具体の事業	・施策		
名称	事業概要		総事業費 (単位:千円) (うちH20事業費)		
統合保育所整備	現在3園ある保育所のうち、2カ所については園舎の老朽化が著しく、また残りの園舎については耐震設計基準を満たしていないことから、早急な補修工事及び耐震補強工事が必要であるが、多額の費用がかかることと、今後の園児数が減少することなどを考え、町内3園の保育所を統合し、新しく園舎を建設するものである。なお、建設予定地には、公営住宅10戸(540建設)があり、このうち4戸分の建て替えを実施する。(事業年度 H19~H20)			420,498	
事業				(397,088)	
本山小学校大規 模(耐震)事業	現在2校ある小学校の内、市街地地区の本山小学校(S51建築)の大規模改修(耐震補強含む)を実施し統合する。 (事業年度 H20~H21)		327,050		
	(尹永午/又 1120 - 1121)			(18,050)	
総計			747,548		
			(415,138)		
その他特記事項					

都道府県名	高知県	市町村名	本山町		
プロジェクト名	歴史と文学、文化の香るまちづくりこ	プロジェクト	新規·継続の 区分	継続	
プロジェクトの 目的、概要及び 具体的な成果目 標	全国俳句大会 投句数	等での町の自主文が多く持たれている。 作句大会や俳句の 進められている。 で集中して立地する 整備を行い、育まれ 平成18年度 18 平成18年度 1,93 平成18年 875	を求めて自ら文化活動 (化事業や住民主体 る。 道整備、作家大原富 がーンを「文化・教育 れてきた歴史・文化、 7点 平成23年度	の実行委員会等による 対文学賞など俳句、 等ゾーン」として位置 資源など活かした特 250点 2,500句	
プロジェクトの 期間 住民への公表の	平成19年度~平成23年度	政策分野の分類 (~)	観光振興・交流フ		
	ホームページ(http://www.town.r 掲載	notoyama.kochi.j	jp/sonota_index.ht	m)) 及び町広報紙に	
プロジェクトを構成する具体の事業・施策					
名称	事業概要		総事業費 (単位:千円) (うちH20事業費)		
文学の香るまち 文化浴のシャ ワープロジェクト	大原富枝文学賞の開催 全国俳句大会の開催、俳句の道活用と整備 自主文化講演の支援と共同開催による住民文化浴事業の推進 (事業年度 H19~H21)			13,952 (4,586)	
(仮称)ふるさと	大原富枝文学館、図書館、郷土資料、埋蔵文化財、名誉町民等の資料を総合文化施設として整備し、本山町の歴史・文学を学ぶ、知る施設と		358,000		
文化センター整備			(0)		
地域資源活用保 全事業			6,717		
工 了 未				(2,239)	
総計			378,669 (6,825)		
その他特記事項					

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	高知県	市町村名		本山町		
プロジェクト名		てのまちづくりプロ	新規・継続の 区分	継続		
プロジェクトの 目的、概要及び 具体的な成果目 標	(目的、概要) 地域の課題やニーズに対応するとともに、簡素で効率的な行政を実現する観点から、町民や町民が参加する団体などが、公共的サービスの提供を行おうとする取り組みについて支援を実施する。 また、本町の基幹産業である農業の生産性の向上・生産量の確保と安定化を目指し、高齢者や女性が取り組める体制を確立する。 高齢化・核家族化が進む中、一人暮らし世帯、高齢者世帯が増加してきている中、慣れ親し					
プロジェクトの 期間	平成 9年度~平成 2 年度 	政策分野の分類 (~)	安心・安全なまち			
住民への公表の 方法 (ホームページ (http://www.town.motoyama.kochi.jp/sonota_index.htm)) 及び町広報紙に アドレス等)						
プロジェクトを構成する具体の事業・施策						
名称	事業概要		総事業費 (単位:千円) (うちH20事業費)			
安心安全なまち づくり	自分たちの住む地域を自らの手で住みやすい地域にしていこうとする 事業や活動に対して支援する。 (具体的事業) 自主防災組織育成事業・手づくり事業・住宅耐震診断事業・地域安全 協議会			16,145		
地域コミュニティ強化事業	地区住民のコミュニティ活動を支援し、地域の連帯意識の高揚を図るとともに、世代間のふれあいを促進する事業を支援する。 (具体的事業)		73,444			
	沢ヶ内小学校改修(宿泊施設)、区長費、町民祭、町民スポーツ大会、町民運動会、汗見川河畔林整備、水利組合補助			(9,490)		
後継者担い手育 成事業	本町の集落は、高齢化と集落の過者不足が振興している。そのため農 ていくために、平成6年に(財)農業	農業を次世代に向l 公社を設立し農家	ナて維持・発展させ	39,912		
	いる。その公社及び各種後継者対策を実施する。 (具体的事業) 農業公社委託金·新規就農者育成·林業後継者育成		(13,236)			
高齢者等生活支 援事業	住民一人ひとりが健やかに長生きし、生きがいのある生活をおくるための事業を実施をする。 (具体的事業)		47,431			
	過疎バス補助、福祉タクシー・バス、入浴サービス、シルバー人材、生きがいディ、在宅介護手当、地域ミニディ			(14,430)		
総計				176,932		
				(42,898)		
その他特記事項						